

# 弊社化粧板塗装表面のメンテナンスおよび 取り扱いに関してのご案内

ステンド®

アデック®

## お客様各位

平素は弊社製品をお取り扱い頂き、誠にありがとうございます。

内装用化粧板「ステンド®シリーズ」および「アデック®シリーズ」の化粧層【アクリルウレタン樹脂系塗料\*（一部抗菌仕様）】をキレイに末永くお使い頂くためのメンテナンス方法をご案内させていただきます。

\*ステンド® #500S・アデック® シャイニーを除きます。

**日常の洗浄方法：水または薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸して拭き取ってください。**

### 塗膜表面の汚れの洗浄方法

- ほこり、どろ、インキ類などは、水または薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸して拭き取ってください。
- マジックインキ、クレヨン類、油脂などは、キシロール、ベンジン、消毒用エタノールに柔らかい布を浸して軽く拭き取ってください。ただし、擦れにより多少艶が変わる可能性や、繰り返し強く拭くと塗膜表面を傷める可能性がありますのでご注意ください。

### 注意事項

- アルコール、シンナーなどを使用しますと塗膜表面を傷める恐れがあります。
- 研磨粉入りの洗浄剤（クレンザーなど）は、使用しないでください。
- 油污はすぐに拭き取るようにしてください。
- たわし、スチールワールなどのハードな道具は、塗膜表面が傷つく恐れがあります。
- 布で同じ箇所を繰り返し強く拭いたりすると、塗膜表面を傷める恐れがあります。
- シーリング材に切れが生じた場合には、速やかに補修をしてください。
- 薬品洗浄などを行う場合には、カタログに記載の耐薬品性の試験結果を参考にしてください。耐薬品性のデータは参考値ですので、ご使用にあたっては十分にご検討をお願いします。

※ 現物カットサンプルなどにて確認用のテストを行うようにおすすめします。

### 使用上の注意

- くぎ、ねじなどを取り付けしないでください。化粧板には、くぎ、ねじなどの保持力が無く、クラックの恐れがあります。
  - ※ ねじなどを取り付ける際には、鋼製下地材まで留め付けして保持力を確保してください。また、化粧板は下張材との間に1mm程度の接着層（隙間）があるため、締め付けすぎると金具廻りに微細なクラックが生じるのでご注意ください。化粧板に負荷がかからないように、ねじ径より大きな下穴（ルーズ穴）を開ける対策などをご検討をお願いします。
  - ※ 手摺りなどの繰り返し加重がある場合は、接着層（隙間）に0.6~0.8mm厚の裏打ち鉄板を挿入し、金具取り付け部分の補強を推奨します。（右図参照）
  - ※ ホールソーなどの穴加工する際にも、化粧板と下張材との間に1mm程度の接着層があるため、化粧板に大きな負荷がかからない程度でゆっくり押し、微細なクラックが生じないようにご注意ください。微細なクラックは加工時には分からなくても、時間の経過と共に進行し、目視できるクラックとなる場合があります。
- ガムテープや接着剤付フック（両面テープ）などの粘着力が強い物の貼り付けはしないでください。塗膜はく離や接着剤残りの原因になります。
  - ※ 養生テープや両面テープの貼り付けの際には、弱粘着タイプのテープを使用してください。またテープを剥がす際には、塗装面に影響が出ないよう、ゆっくり剥がしてください。
- ナイフ、フォークなど鋭利な物を当てないでください。表面が傷つく恐れがあります。
- 炎や熱くなった物を近づけたり触れさせたりしないでください。塗膜面が焦げたり、火ぶくれを起こすことがあります。
- 抗菌仕様の製品の塗膜は、ホコリ、汚れなどが付着していると抗菌効果を発揮しづらくなります。



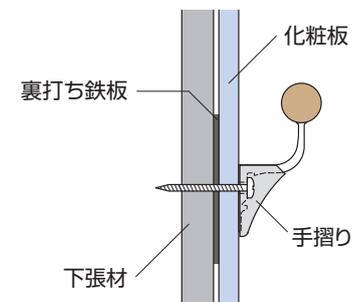
基本は水か薄めた中性洗剤を使用します。



エタノールや消しゴムは使用可能ですが、注意が必要です。エタノールは柔らかい布を浸して軽く拭き、消しゴムはゆっくりとこすり消しするようにしてください。



コンパウンド、クレンザー、たわし、スポンジ、砂消しゴムは使用しないでください。



〈手摺り金具取付例〉



株式会社エーアンドエーマテリアル